

令和 6 年度

保管

第 3 学年シラバス



豊島区立巢鴨小学校

令和6年度 第3学年（国語）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいこうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場1 春のくらし もっと知りたい、友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場2 文様 こまを楽しむ 全体と中心 気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場3 まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき 仕事のくふう、見つけたよ 夏のくらし 本で知ったことをクイズにしよう「鳥になったきょうりゅうの話」	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
二 学 期	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにほしい ポスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字 ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめの一さつを決めよう すがたをかえる大豆 食べ物のみみつを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場4 三年とうげ わたしの町のいいところ 冬のくらし	
三 学 期	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場5 ありの行列 つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます モチモチの木 漢字の広場6 三年生をふり返って	

〈授業の工夫〉

- 言葉の抑揚や強弱、語句、文や文章、言葉使いなど、日常生活に必要な国語の知識・技能の定着を図り、他教科との関連を意識できるようにします。
- 学習内容に合った言語活動を工夫することにより、児童が意欲的に自分の思いや考えをまとめながら学習できるようにします。
- 家庭学習で行ったことを学校で復習し、友達の意見を聞きながら共通理解を図ります。

〈評価について〉

- 言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか評価します。
 - 日常生活における人と人との関わりの中で思いや考えを伝え合う力を高め思考力や想像力を養っているか評価します。
 - 言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか評価します。
- 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、グループや学級全体での話し合い活動の様子などを基に評価します。

〈学習方法など〉

- 漢字の定着を図るため、漢字ドリルや漢字学習ノートを使います。
- 物語文などでは、文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読ができるよう、「音読カード」を使って家庭学習を継続していきます。
- 幅広く読書に親しめるよう、図書室の本や図書館図書ネット便を活用します。

令和6年度 第3学年（社会）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	1 わたしたちのすむまち (1)学校のまわり(副読本) (2)わたしたちの区のように (副読本)	【知識及び技能】 ○身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の変り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
二 学 期	2 わたしたちのくらしとまちではたらく人びと (1)店ではたらく人びとの仕事 (教科書・副読本) (2)工場ではたらく人びとの仕事 (教科書・副読本)	
三 学 期	3 安全なくらし (1)消ぼうの仕事と人々の協力 (2)火事をふせぐために (3)ふせごう、交通じこやじけん (副読本・教科書)	
三 学 期	4 豊島区や人びとのくらしのうつり変わり (副読本)	
〈授業の工夫〉 ○ワークシートなどを使って問題解決的な学習を行い、知識や技能を定着させます。 ○実際に地域の人に会い、インタビューや体験を通して自分の町のよさを体験します。 ○問題を解決するために様々な資料を用いて説明したり話し合ったりしていきます。 ○活動を通して気付いたことを、新聞をはじめ様々な形で発表していきます。		
〈評価について〉 ○課題への取り組みを基に学習の様子を評価します。 ○单元ごとのテストによる評価とともに、日々の授業の中で取り組む態度や発言、学習のまとめなどから、一人一人の関心や理解の状況の評価します。 ○学習したことを確認して振り返り、これからの地域社会について考えようとする意識を評価します。		
〈学習方法など〉 ○学習への関心を広げ、理解を確かなものにしていくために、校外学習に行ったり、家庭学習で地域に関した情報を家の人に尋ねたりして、学習につながる様々な活動を計画し、実施します。		

令和6年度 第3学年(算数)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	※学びのとりばら 1.九九を見なおそう 2.時こくと時間のもとめ方を考えよう 3.同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう 4.大きい数の筆算を考えよう ※考える力をのばそう 5.長い長さをはかって表そう 6.記ろくを整理して調べよう 7.数をよく見て暗算で計算しよう	【知識及び技能】 ○数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の内容、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
二 学 期	8.わり算を考えよう 9.10000より大きい数を調べよう 10.大きい数のかけ算のしかたを考えよう 11.わり算や分数を考えよう ※どんな計算になるのかな？ 12.まるい形を調べよう 13.数の表し方やしくみを調べよう ^⑬ 14.重さをはかって表そう ^⑩	【思考力・判断力・表現力等】 ○数とその表現や数量の係に目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを養う。
三 学 期	15.分数を使った大きさの表し方を調べよう 16.□を使って場面を式に表そう 17.かけ算の筆算を考えよう ※倍の計算 18.三角形を調べよう ※そろばん ※考える力をのばそう ※3年のふくしゅう	【学びに向かう力・人間性等】 ○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。

〈授業の工夫〉

- 既習の知識及び技能と結びつけながら、新しい学習にも生かせる技能となるよう指導します。
- 問題解決の過程や結果を伝え合う機会を設け、互いの考えをよりよいものにしたり、一人では気付けない新たなことを見いだしたりする機会が生まれることを経験できるようにします。
- 具体物、図、数、式を用いてそれらを可視化し、学習理解の定着を図ります。

〈評価について〉

- 既習の知識及び技能を踏まえて、基本的な数量や図形の内容及び意味、性質を確実に理解しているか、数理的な処理や表現の基礎となる技能を習得しているか評価します。
- 「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」において必要に応じて具体物を操作しながら考察したり、簡潔に表現したり、適切に判断したりしているか評価します。
- 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しているか評価します。

〈学習方法など〉

- 算数の学習内容の定着を図るために、既習内容の復習プリントを継続的に取り組みます。
- 計算処理の確実な定着を図るために、ドリル学習やプリント学習を繰り返し行い、多くの問題に触れることができるようにします。
- 個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果を基に習熟度別少人数指導を実施します。

令和6年度 第3学年(理科)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	しぜんのかんさつ	【知識及び技能】 物質・エネルギー ○物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○身の回りの生物、陽と地面の様子についての理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 物質・エネルギー ○物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 生命・地球 ○身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 物質・エネルギー ○物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。
	植物の育ち方 こん虫の育ち方 植物の育ち方	
	ゴムと風の力の働き	
二 学 期	音のふしぎ 植物の育ち方 じゅうけんきゅう	
	動物のすみか 植物の育ち方	
	地面のようすと太陽	
三 学 期	太陽の光	
	電気の通り道	
	じしゃくのふしぎ	
三 学 期	ものの重さを調べよう	
	おもちゃショーを開こう	

〈授業の工夫〉

- 生活科の学習との関連を考慮し、体験的な活動を多く取り入れます。
- 自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見いだすといった問題解決の力を育成できるよう、「理科としての見方・考え方」を指導します。
- 問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができるよう配慮します。

〈評価について〉

- 单元ごとのテストによる評価と合わせて、観察や実験の予想、計画や結果などを記したノートやワークシート、学習のまとめなどからも評価します。
- 比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点を基にして、問題を見いだし、表現したことを評価します。
- 観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価します。

〈学習方法など〉

- 学習の中で扱う昆虫や植物を学習の対象とするだけでなく、実際に自然に接する活動も大切にします。
- 日頃から地域の自然に親しむ機会を多く設け、自然や生き物への関心が深まるように、ご家庭でもご協力をお願いします。
- 学習の定着を再確認するために、タブレットを活用し、視覚的に学んでいきます。

令和6年度 第3学年（音楽）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	○音楽で心をつなげよう ハッピーソング リズムでなかよくなろう 春の小川 茶つみ ○歌って音の高さをかんとろう ドレミで歌おう ドレミと友だちになろう 海風きって ○リコーダーのひびきに親しもう 小鳥のために ピタゴラスイッチ いろいろなシの音であそぼう ふいてみよう／きれいなソラシ 坂道／雨上がり いろいろな音であそぼう	〔知識及び技能〕 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 〔思考力、判断力、表現力等〕 ○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
二 学 期	○拍にのって リズムをかんとろう ゆかいな木きん あの雲のように アチャ パチャ ノチャ 手拍子でリズム ○せんりつのとくちょうをかんとろう とどけよう このゆめを メヌエット ふじ山 うさぎ ○せんりつのもりをかんとろう かね 歌おう 声高く リコーダーのひくい音であそぼう メリーさんのひつじ	〔学びに向かう力、人間性等〕 ○進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
三 学 期	○いろいろな音のひびきに親しもう トランペットふきの休日 よろこびの歌 パフ クロック ミュージック ○ちいきにつたわる音楽でつながろう 神田囃子「投げ合い」 ちいきにつたわる 祭りばやしを調べよう ラドレの音でせんりつづくり ○思いを音楽で表そう 帰り道 エーデルワイス ゆりかごの歌／七つの子／どこかで春が	

〈授業の工夫〉

- 自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。
- 様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。
- 友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を進んで伝え合う場を多く設定します。

〈評価について〉

- 題材の表現や技能だけでなく、進んで音楽活動に取り組んでいるかを評価します。
- 音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を音楽活動や学習カードを通して評価します。
- 友達との音楽活動を楽しみながら進んで取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価します。

〈学習方法など〉

- ねらいと振り返りの連動による学びの探求ができるように学習内容を工夫します。
- 考えを広げ深める場を設定し、友達と協働しながらよりよい表現ができるような活動方法を工夫します。

令和6年度 第3学年(図工)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	いろいろ色水 くぎうちトントン コリントゲーム 世界で一つの花瓶(土器) 和の伝統(五つ折・土器の敷物) カラフルキャップアート 切ってつないだ形から	【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かっている。手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
二 学 期	窓の向こうはどんな世界?(セロハン) 夢の行進曲(スチレンボード版画) 伝説の宝物 切り絵アート「花」(ものづくり授業) 展覧会・鑑賞 コマコマアニメーション	
三 学 期	空きようきのへんしん 和紙染め プラスチック工作(入門編) プッシュステンド(入門編)	

〈授業の工夫〉

- 主体的・意欲的に造形活動に取り組めるように、毎時間「めあて」を示し、見通しがもてるようにします。
- クラスルームに事前に、製作途中の作品手本(製作過程)を投稿し、見通しをもって発想を広げられるようにします。
- 各学年の発達段階に応じて、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。

〈評価について〉

- 一人一人の活動の様子や作品の製作過程から、本人の思いや創意工夫を見ていきます。
- 一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、「鑑賞の時間」と「振り返り」の時間を設定し、記述内容を評価します。

〈学習方法など〉

- 児童の作品を定期的に廊下へ掲示し、友達の作品のよさを学び合える環境作りをしていきます。
- 完成前(製作途中)の様子をデータで閲覧できるようにして「可視化」することで、児童が見通しをもって製作できるようにします。
- 11月の展覧会では、児童が取り組んできた作品を保護者や地域の方に公開します。

令和6年度 第3学年（体育）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	体ほぐし運動 短距離走・リレー 幅跳び・投の運動（3年） 体の動きを高める運動（柔軟・巧み） 運動会に向けて 体力テスト 多様な動きをつくる運動（体のバランス・用具・組み合わせ）" 水泳の安全について・水泳運動	【知識及び技能】 ○各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や発育・発達について理解するとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
二 学 期	ネット型ゲーム（ソフトバレー等） 鉄棒運動 マット運動 ベースボール型ゲーム（ティーボール等） 体力を高める運動 保健 健康な生活（3年）	【学びに向かう力・人間性等】 ○各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。
三 学 期	跳び箱運動 ゴール型ゲーム（ポートボール等） 体の動きを高める運動 （柔軟・巧み・力強さ・持続、持久走を含む ゴール型ゲーム（タグラグビー等）	
〈授業の工夫〉 ○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行い、体力や技能を伸ばします。 ○各種の運動について、みんなが楽しめるようなルールや動きを考えたり、伝えたり工夫することを重視します。 ○勝敗や競争（走）を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の向上や体力の高まりが感じられるようにします。		
〈評価について〉 ○運動技能や知識のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○運動の楽しさを味わうための工夫や、自分の能力に応じた目標に向けた努力の様子を評価します。また、学習カードも用い、自己評価や児童相互の評価をします。		
〈学習方法など〉 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題に合った活動を選択することで、課題解決に取り組みます。また、考えたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和6年度 第3学年（外国語活動）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	Let'sTtry! Unit 1 Hello! あいさつをして友だちになろう	【知識及び技能】 ○外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
	Let'sTtry! Unit 2 How are you? ごきげんいかが？	
	Let'sTtry! Unit 3 How many? 数えてあそぼう。	
二 学 期	Let'sTtry! Unit 4 I like blue. 好きなものをつたえよう。	【思考力、判断力、表現力等】 ○身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
	Let'sTtry! Unit 5 What do you like? 何が好き？	
	Let'sTtry! Unit 6 Alphabet アルファベットとなかよし	【学びに向かう力、人間性等】 ○外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
	Let'sTtry! Unit 7 This is for you. カードを送ろう	
三 学 期	Let'sTtry! Unit 8 What's this? これなあに？	
	Let'sTtry! Unit 9 Who are you? きみはだれ？	

〈授業の工夫〉

○CD や DVD、英単語カードの活用、対話をする活動を多く取り入れ、児童が楽しめる授業をめざします。

○担任と英語指導アシスタントが協力し、主にコミュニケーション能力の育成をめざします。

〈評価について〉

○活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、相手の顔を見て明瞭な声で話そうとしているかなどを評価します。

〈学習方法など〉

○外国語活動では、音声をたくさん聞かせたり、文字を見せたりする活動（インプット）を多く行い、英語で「伝えたいな!」「話したいな!」と思う気持ちを育てます。そして、英語を使って自分の思いを音声に表して伝える活動（アウトプット）を行っていきます。

令和6年度 第3学年（特別の教科 道徳）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	礼儀 生命の尊さ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 自然愛護 節度、節制 正直、誠実 よりよい学校生活、集団生活の充実 友情、信頼 善悪の判断、自律、自由と責任 親切、思いやり 規則の尊重 勤労、公共の精神	（「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」） 第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
二 学 期	生命の尊さ 節度、節制 規則の尊重 自然愛護 公正、公平、社会正義 勤労、公共の精神 相互理解、寛容 希望と勇気、努力と強い意志 国際理解、国際親善 友情、信頼 家族愛、家庭生活の充実 親切、思いやり 感動、畏敬の念 善悪の判断、自律、自由と責任 親切、思いやり 個性の伸長	【第3学年及び第4学年重点目標】 ○集団や社会のきまりを守り、正しいと判断したことを進んで行おうとすること○友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと○誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】
三 学 期	友情、信頼 家族愛、家庭生活の充実 感動、畏敬の念 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 生命の尊さ 感謝 希望と勇気、努力と強い意志	という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 学習指導要領に示された内容項目（第3・4学年）は、それぞれの学年において網羅されています。

〈授業の工夫〉

○道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して、自己の生き方について考えを深めていくことを大切にします。

〈評価について〉

○道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、道徳ノートへの記述を基に肯定的評価をします。

〈学習方法など〉

○ワークシートやオクリンクを使って学習します。

＜学習の流れ＞

①教材文の状況を把握する。②登場人物の思いを共通理解する。③授業の中心で考えさせたいこと（場面）について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。

令和6年度 第3学年（総合的な学習の時間）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	＜パラスポーツについて知ろう＞ パラスポーツについて調べたり、体験したりすることを通して、パラスポーツの意義を理解し、障害者と自分たちの関わりについて考える。	【知識及び技能】 ○自分の生活や身近な地域に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
二 学 期	＜ヤゴ救出作戦＞ 豊島区のヤゴの生育環境や育て方を知り、ヤゴのすみかを作る。 ヤゴの育て方をまとめ、発表する。	【思考力・判断力・表現力等】 ○自分の生活や身近な地域の中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付ける。
三 学 期	＜かがやかせようまちの宝＞ 巣鴨小のまわりのすてきなところを見付け詳しく調べてまとめ、発表する。住んでいる地域と自分との関わりについて考える。	【学びに向かう力・人間性等】 ○自分の生活や身近な地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
＜授業の工夫＞ ○学習を振り返ったり、深めたり、広げたりすることができるよう、個別学習だけではなく、グループ学習の場を設定します。 ○ICTを活用して調べ学習を行ったり、発表したりします。 ○体験学習を大切にして、他教科と関連させて学習を進めます。		
＜評価について＞ ○テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・絵などの製作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 ○通知表には、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
＜学習方法など＞ ○以下の探究的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。（自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど。） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		

